令和８年４月７日
国土交通省東北地方整備局
成瀬ダム工事事務所
秋田県東成瀬村

「第４回 成瀬ダム水源地域ビジョン策定委員会」
開催結果について

ダムは治水・利水の役割に加え、新たな観光資源として水源地域の活性化にも期待されています。
水源地域の自立的・持続的な活性化を図るため、令和６年１２月に成瀬ダム水源地域ビジョンを策定するための委員会（委員長：林武司秋田大学教授）を立ち上げ、水源地域や流域の自治体・住民・関係団体、有識者、ダム事業者とともに、流域全体の発展を目指すビジョンの策定に向けて検討を進めているところです。
今回は、令和８年３月２７日に「第４回成瀬ダム水源地域ビジョン策定委員会」を開催し、これまで検討していた「基本理念・基本方針」及び「行動計画」の素案を基に、具体的に取り組みを進めていくための「行動計画」の最終案を提示し、委員から了承を得ました。あわせて、ダム貯水池名称の選定方法の協議や、令和８年度のスケジュールについて協議を行いました。

要旨

１．水源地域ビジョン「検討体制」について
- 地域ブランディング戦略やプロモーションの取組を専門とする学識経験者として、秋田大学の益満環教授にビジョン策定委員会の委員として参画いただくことを決定した。

２．水源地域ビジョン「行動計画」最終案について
- 成瀬ダム水源地域ビジョンの取組内容となる「行動計画」の最終案を提示し、委員から了承が得られた。
- 令和８年度は、行動計画を具体に進めるための実施体制やフォローアップ計画を定めた推進方策について検討する。

３．ダム貯水池の名称選定について
- ダム貯水池の名称を選定するための募集方法を決定したほか、プロセスについて確認した。
- 選定までのスケジュールについては、公募期間を十分に確保するために調整を行った上実施することとした。
- 募集は、はじめに公募を実施し、公募結果から行う一次選定と住民投票（対象：東成瀬村、横手市、湯沢市、大仙市の住民）を経て、策定委員会でダム湖名称を決定する。

４．令和８年度スケジュールについて
- 策定委員会は２回を予定する。なお、幹事会は２回を想定するが、内容に応じて適宜開催する。
- ダム活ミーティングは令和８年秋頃の開催を想定し、開催内容の検討、企画・準備を進める。

第４回 成瀬ダム水源地域ビジョン策定委員会

出席者名簿

所 属		役 職	氏 名	備 考
学識経験者	秋田大学 教育文化学部 地域文化学科	教 授	林　　武司	委員長
学識経験者	秋田大学 教育文化学部 地域文化学科	教 授	益満　　環	
観光	一般社団法人 秋田県観光連盟	専務理事	上田　智子	欠席
水利用	秋田県雄物川筋土地改良区	理事長	柿﨑　幹夫	
地域活動	NDM（なるせダムミーティング）取組推進部会	代 表	鈴木　　実	
行政機関	秋田県 雄勝地域振興局	局 長	小原　友明	
	横手市	市 長	髙橋　　大	
	湯沢市	市 長	佐藤　一夫	
	大仙市	市 長	老松　博行	〈代理〉 副市長　舛谷　祐幸
	東成瀬村	村 長	備前　博和	
	東成瀬村 教育委員会	教育長	大沼　一義	
	国土交通省 成瀬ダム工事事務所	所 長	野口　暁浩	

第４回 成瀬ダム水源地域ビジョン策定委員会

日 時：令和８年３月27日（金）13:30～15:30
場 所：東成瀬村役場 防災情報センター３階会議室

議 事 次 第

１．開　会

２．挨　拶

３．委員の追加について

４．報　告

（1）成瀬ダム“ダム活”ミーティング2025　開催結果

（2）第３回成瀬ダム水源地域ビジョン策定委員会　意見と対応

５．議　事

（1）成瀬ダム水源地域ビジョン「行動計画（最終案)」について

（2）ダム貯水池名称の選定方法について

６．その他

（1）次年度スケジュールについて

（2）桧山台跡地について

７．閉　会

成瀬ダム水源地域ビジョン 行動計画（取組内容）

1．行動計画　検討の流れ

【成瀬ダム水源地域ビジョン 検討フロー】

令和６年度
1．成瀬ダム及び水源地域の概要
1.1 成瀬ダムの概要
1.2 地域の概要

↓

令和６年度
2．基本理念と基本方針
→ 関係者が共有できる基本理念（取組の将来像）、及び基本方針①～⑥を決定

↓ ↑ 必要に応じて見直し

令和７年度
3．行動計画（活性化の方策）
→ 取組の具体のテーマ、メニュー、その効果等をとりまとめ

↓ ↑ 必要に応じて見直し

令和８年度
4．推進方策
→ 実施体制や目標スケジュール等のロードマップ、フォローアップ計画等をとりまとめ

↓

令和９年度
成瀬ダム水源地域ビジョン とりまとめ

《令和７年度の検討スケジュール案》

第３回幹事会（9 月 3 日）
①検討スケジュールの共有
②意見照会（具体的な取組内容や主体となる人・団体、財源の確保等）

↓

③結果を事務局で整理、とりまとめて行動計画（素案）を作成

↓

第３回策定委員会（10 月 7 日）
④行動計画（素案）の協議
（取組メニュー、先行する取組の決定）

↓ **・検討体制の拡充**

第４回幹事会（11 月 26 日）
⑤行動計画（案）の具体検討
（先行する取組の各機関の取組検討）

↓

⑥ ⑤での意見を踏まえ、行動計画の最終案を作成

↓

第５回幹事会（2 月 18 日）
⑦行動計画（最終案）の確認
（先行する取組の進め方の確認）

↓

第４回策定委員会（3 月 27 日）
行動計画　決定

NDM+

R7.9.22
今後具体的に進める取組メニューについて協議

R7.12.10
取組メニューの個別会議のメンバーについて協議

R8.2.19
取組の具体の内容について協議を開始

2．行動計画（案）

基本理念

“成瀬ダム×地域資源×連携”でみんなが人と風土の豊かさを実感できる地域づくり

基本方針（取組の方向性）

方針１：郷土の歴史・文化の継承、地域への意識醸成

◎成瀬ダム、雄物川等を題材とした環境教育、自然教育を推進し、地域の環境保全意識を醸成
◎各地域の資源、特徴、体験、テーマ等を活かした上下流の学校や住民等の交流を推進し、地域相互の歴史・文化等の理解促進
◎多年代の交流により、秘めた地域資源の発掘等に取り組み、郷土愛を醸成

方針２：「人と風土の豊かさを実感する」魅力向上

◎豊富な地域資源、独自の文化の継承・活用による他地域との差別化
◎新たな地域資源として成瀬ダムやダム湖を活用した魅力づくり
◎ダムの恩恵に対する感謝の心の醸成
◎ガイドや語り部等の人材育成、おもてなしの素地づくり
◎インバウンドも想定した受け入れ体制の整備や、雪や独自の文化等を活かしたコンテンツ作り
◎既往のイベントの連携や、新たなイベントの実施等による地域の魅力発信
◎地域との繋がりが感じられる体験コンテンツの充実
◎上記による地域への関心、地域との関わりを促進し、関係・交流人口を拡充

方針３：地域内の周遊観光の拡充から滞在型観光へ

◎新たな地域資源として成瀬ダムやダム湖を活用した拠点づくり
◎成瀬ダム、全国区の知名度のあるイベント、隣接他県も含む周辺の観光地等と連携した周遊型観光（ツアーの造成）により、地域への立ち寄りを促す
◎通過する観光客の取り込みを狙い、ダム湖でのアクティビティの開発、様々な体験メニューの充実、地域内で周遊する仕組みやコースづくりを推進
◎ダム工事見学目的の来訪者に向けた地域資源・文化等の PR や体験の提供
◎個人旅行者、県内他地方の方に向けた、地域独自の資源・文化を活かしたおもてなしを行う滞在型観光（少人数、高付加価値）の推進

方針４：地域資源を活かした産業の活性化

◎来訪者、地域外の方向けに、成瀬ダム等をきっかけとした既存の特産品の磨き上げや、新たな特産品の開発
◎地域間連携によるブランド力の向上や販路の拡大
◎上記による来訪者、関係人口（地域の応援団、ふるさと納税等）の拡大

方針５：連携したプロモーション・情報発信等

◎全国区のイベントや独自の文化等を連携して情報発信、PR することによる知名度向上
◎ターゲットに応じたプロモーション、情報発信の展開
◎隣接する他ダム等と連携したプロモーション展開
◎統一したシンボルやデザインを用いたイメージ展開

方針６：雄物川流域、周辺地域等との連携・協調

◎雄物川上流地域（東成瀬村、湯沢市、横手市、大仙市）間を中心に、下流域や県外の隣接市町村、ダム管理者、民間、活動団体等が連携・協調し、取組を推進
◎ダム工事に従事している方々との継続的な協力関係の構築

紺太字：優先度が高いと思われる取組

取組のテーマと具体的な取組（案）

【取組のテーマ】	【具体的な取組】
水源地域の環境保全	**・上下流連携による水源地での植樹活動の推進［成瀬の森づくり］** （ダム完成後の森づくりの推進体制づくり、苗木の育成等）
地域の歴史・文化の継承	**・学校教育・生涯学習との連携の推進**（成瀬ダムや水源地の役割についての出前授業の実施等） **・上下流連携による交流会の開催**（流域の小学生や親子を対象とした地域の歴史・自然・文化をテーマとした交流会の開催等）
成瀬ダムやダム周辺の活用	**・ダム湖・ダム堤体利活用の推進** →ダム湖　：魚釣り、湖面スポーツ（カヌー、ボート、SUP 等）等 →ダム堤体：ライトアップ、ダムアート、水力発電の電力を活用した電動カート等 ・ダム湖やダム堤体利活用のルールづくり
	・残土受入地（桧山台地区跡地）利活用の推進 （イベントの開催・誘致・連携（成瀬ダムまつり、栗駒ヒルクライム、ポルシェピクニック等）、利活用メニューの検討、キャンプ場等の整備に向けた民間参入の検討等）
成瀬ダムを活用した観光（ダムツーリズム）	**・広域周遊の推進**（旅行会社や周辺地域との連携による広域周遊ツアーの造成等、DMO の設立検討） **・モデルコースづくりの推進**（ダム＋地域内の資源めぐりや体験を合わせた周遊コースの造成、・着地型観光の推進（地域ならではの体験メニューの充実等）等） **・ダム見学会の継続**（ダム完成後の見学内容の検討等）
地域資源の活用	・水源地域体験メニューのブラッシュアップ（集客力アップに向けた広報手法の検討等） ・雪を活かした観光コンテンツの開発（豪雪を活用したイベントの開催等） ・既往イベントとダムツーリズムの連携の推進（東成瀬村産業祭や丸太市との連携等）
特産品の開発・販売	**・ダムやダム周辺を活用した特産品開発の推進**（ダム堤体でのワインや日本酒の貯蔵、桧山台地区跡地での椿（こうぞ）の栽培、ダムカレー等の食、湧水を活かした特産品開発等） ・成瀬ダム管理庁舎や地域のイベントを活用した特産品の販売・PR
プロモーション・情報発信力の向上	**・成瀬ダムの広報の強化**（成瀬ダムの恩恵に対する周辺市町村民の理解の促進） **・取組のプロモーションの推進**（ターゲットに応じた広報手法の検討、ダムカードの活用、イメージづくり等、流域住民が「自分事化」するためのメリットの発信） **・成瀬ダム水源地域ビジョンの周知**（連携による情報発信、HP の活用等）
人材の確保・育成【方針：1～5】	・歴史・文化の継承者（自然観察ガイド、語り部等）の確保・育成 ・観光ガイドの確保・育成（観光ガイド育成マニュアルの作成、小中学生ガイドの育成等） ・取組を推進する担い手（マンパワー）の確保・育成（新たな取組の運営者、イベントスタッフ等）
流域のつながりの強化	・「成瀬ダムまつり」の活用・拡充（水源地域や流域・周辺地域の事業者による出店、PR ブースの設置等） ・「ダム活ミーティング」の開催（地域振興のヒントの取得や流域のつながりの強化）

雄物川流域、周辺地域との連携による展開

太字：先行して進める取組

令和８年度 成瀬ダム水源地域ビジョン策定委員会の進め方 案

		令和6（2024）年度	令和7（2025）年度	令和8（2026）年度	令和9（2027）年度	令和10（2028）年度以降
想定段階	ビジョン策定	策定委員会立上げ、基本理念・方針等決定	行動計画決定	推進方策検討	最終案の検討	ビジョンに基づく取組推進
	取組	取組試行・ブラッシュアップ		取組充実・連携拡大	取組継続・更なる展開	
年次成果・目標		○検討体制構築（組織メンバーの確定）済 ○ビジョン基本理念及び基本方針の明確化 済 ○地域住民等への広報・啓発 継続中	○ビジョン行動計画、施策メニューの明確化 今回決定 ○具体の取組展開 継続中	○ビジョン推進方策の明確化 ○具体の取組継続	○ビジョン策定 → 公表 ○取組継続・更なる取組の展開	
成瀬ダム水源地域ビジョン策定委員会	策定委員会	準備会 第1回委員会：設立趣意・規約策定 ビジョン骨子 第2回委員会：ビジョン（基本理念および基本方針）の確認・審議	第3回委員会：ビジョン案（行動計画）の確認・審議 第4回委員会	第5回委員会（11月） 第6回委員会（2月）：・ビジョン案（推進方策）の確認・審議	第7回委員会 第8回委員会：ビジョン最終案の確認・審議	・必要に応じて、活動連絡・推進会議（仮）に参画
	幹事会	第１回幹事会 第２回幹事会：ビジョン案（基本理念および基本方針）の検討	第３回幹事会 第４回幹事会：ビジョン案（行動計画）の検討 第５回幹事会	第６回幹事会（7月）：・ビジョン案（推進方策）の検討・ダム貯水池名称の選定・湖面利用ルール検討 第７回幹事会（1月）	第８回幹事会：ビジョン最終案の検討 第９回幹事会	・活動連絡・推進会議（仮）に参画し、取組継続ならびに取組への支援、連携拡大等を検討
	広報・啓発活動	ダム活キックオフミーティング：流域連携に向けたキックオフ	第２回ミーティング	第３回ミーティング	第４回ミーティング	・流域連携について検討、実行するミーティングとして継続
行政実務者会議（仮）				行政実務者会議（仮）取組体制協議		
取組推進に関する会議体（東成瀬村・成瀬ダム工事事務所主催）		ＮＤＭ取組推進部会（旧 なるせダムミーティング（地域意見交換会）） ダムツーリズムワーキング		ダムツーリズムワーキング（4自治体+民間）		・各活動グループに移行
将来イメージ		その他取組 下流域の取組 各活動グループ 取組（施策）を実行する組織 例：ツーリズム、森づくり、湖面利用、行事、文化、イベント…		県南エリアとの連携拡大	秋田市含む雄物川流域との連携拡大	報告・提案 ⇅ 支援・連携 ビジョン活動連絡・推進会議（仮） 情報共有、連携拡大等を図る場
ダム湖名称選定スケジュール			選定方法、スケジュールの決定			